

学習指導要領		都立蒲田高校 学カスタンダード
(1) 世界史へのいざない	<p>自然環境と歴史，日本の歴史と世界の歴史のつながりにかかわる適切な主題を設定し考察する活動を通して，世界史学習の基本的機能に触れさせるとともに，地理と歴史への関心を高め，世界史学習の意義に気付かせる。</p> <p>ア 自然環境と歴史 歴史の舞台としての自然環境について，河川，海洋，草原，オアシス，森林などから適切な事例を取り上げ，地図や写真などを読み取る活動を通して，自然環境と人類の活動が相互に作用し合っていることに気付かせる。</p> <p>イ 日本列島の中の世界の歴史 日本列島の中に見られる世界との関係や交流について，人，もの，技術，文化，宗教，生活などから適切な事例を取り上げ，年表や地図などに表す活動を通して，日本の歴史が世界の歴史とつながっていることに気付かせる。</p> <p>近現代世界を理解するための前提として，ユーラシアの諸文明の特質に触れるとともに，16世紀以降の世界商業の進展及び資本主義の確立を中心に，世界が一体化に向かう過程を理解させる。その際，世界の動向と日本とのかかわりに着目させる。</p>	<p>世界史における自然環境の変化とそれが与えた影響について概説して理解する。また，ユーラシア大陸における諸文明の交流から，両者のつながりと与えた影響を理解する。また，大陸からの影響を中心に日本社会の形成についても簡単に理解することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図版や資料集など様々なデータを利用して，それが人間の活動にどのような影響を与え，どのような結果をもたらしたのかを簡単に分析することができるようになる。また，分析を通じて得た知識を体系的なものとして修得することができる。 ・図版や資料集，地図などを利用して世界から日本列島へもたらされた文化を，白地図を用いて身につけることができる。また，年号について理解し，世界史を学ぶ際の基礎的な尺度として，西暦等を用いることができる。 中国の古代文明を中心に4大文明について白地図等を用いながら，その概要を系統的に理解する。また，中国史を中心に，遊牧諸民族との交流も交えながら，西アジア世界の発展を理解する。その際にこれらの王朝が日本に与えた影響についても系統的に身につける。 16世紀以降の歴史に関しては，大航海時代，宗教改革，科学革命の世紀等の重要な事項を系統的に理解することができるようになる。
(2) 世界の一体化と日本	<p>ア ユーラシアの諸文明 自然環境，生活，宗教などに着目させながら，東アジア，南アジア，西アジア，ヨーロッパに形成された諸文明の特質とユーラシアの海，陸における交流を概観させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東アジアの中国古代文明を中心に，その黎明期から元代前までの歴史を，周辺の遊牧民族とのかかわりも含めて理解する。 ・西アジアの歴史について古代オリエントからイスラームの発展等々を系統的に理解する。また，イスラームに関してはその文化的な特徴などとともに，理解をかめる。 ・諸地域世界の交流について，シルクロードや海の道を通じた交易の歴史を系統的に理解し，それが日本へ与えた影響を含めて概観することができる。

学習指導要領		都立蒲田高校 学カスタンダード
(3) 地球社会と日本	<p>イ 結び付く世界と近世の日本 大航海時代のヨーロッパとアフリカ，アメリカ，アジアの接触と交流，アジアの諸帝国とヨーロッパの主権国家体制，大西洋世界の展開とアフリカ・アメリカ社会の変容を扱い，16世紀から18世紀までの世界の一体化の動きと近世の日本の対応を把握させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 大航海時代の背景を総括的に理解し，その中で活躍した国や人物を系統的に理解する。 三角貿易や帝国主義の進展等の基礎的な知識を体系的に理解し，奴隷貿易の悲惨さを認識することができる。 明，清を中心とした東アジアの歴史について，周辺諸民族とのかかわり等とともに系統的に理解する。
	<p>ウ ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成 産業革命と資本主義の確立，フランス革命とアメリカ諸国の独立，自由主義と国民主義の進展を扱い，ヨーロッパ・アメリカにおける工業化と国民形成を理解させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 科学革命などとともに産業革命の経過を概括的に理解し，資本主義社会の進展とそれがもたらした社会的歪について系統的に認識することができる。 アメリカ独立革命の経過と歴史的意義について系統的に理解し，それがその後のフランス革命をはじめとするヨーロッパの革命に影響した過程を考察することができる。
	<p>エ アジア諸国の変貌と近代の日本 ヨーロッパの進出期におけるアジア諸国の状況，植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折，伝統文化の変容，その中で日本の動向を扱い，19世紀の世界の一体化と日本の近代化を理解させる。 地球規模で一体化した構造をもつ現代世界の特徴と展開過程を理解させ，人類の課題について歴史的観点から考察させる。その際，世界の動向と日本とのかかわりに着目させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 三角貿易や植民地といった用語について正しく理解することができる。 <p>第1次世界大戦と第2次世界大戦を中心に学習し，戦争のもたらした影響を，前後の歴史とともに系統的に理解する。</p>
	<p>ア 急変する人類社会 科学技術の発達，企業や国家の巨大化，公教育の普及と国民統合，国際的な移民の増加，マスメディアの発達，社会の大衆化と政治や文化の変容などを理解させ，19世紀後期から20世紀前半までの社会の変化について，人類史的視野から考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 科学技術の発展や資本主義の進展について系統的に理解し，大衆社会の出現等の基本的事項を理解する。
	<p>イ 世界戦争と平和 帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応，二つの世界大戦の原因と総力戦としての性格，それらが世界と日本に及ぼした影響を理解させ，19世紀後期から20世紀前半までの世界の動向と平和の意義について考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 帝国主義の概要を理解し，アジアやアフリカ諸国の植民地化の状況を系統的に理解する。さらに，第1次及び第2次世界大戦にいたる歴史的背景を認識し，その経過や結果を系統的に理解する。

学習指導要領	都立蒲田高校 学カスタンダード
<p>ウ 三つの世界と日本の動向 第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立と日本の動向，アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立を理解させ，核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える問題などについて考察させる。</p> <p>エ 地球社会への歩みと課題 1970年代以降の市場経済のグローバル化，冷戦の終結，地域統合の進展，知識基盤社会への移行，地域紛争の頻発，環境や資源・エネルギーをめぐる問題などを理解させ，地球社会への歩みと地球規模で深刻化する課題について考察させる。</p> <p>オ 持続可能な社会への展望 現代世界の特質や課題に関する適切な主題を設定させ，歴史的観点から資料を活用して探究し，その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して，世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について展望させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第1次世界大戦後の世界の変容やヒトラー，ナチ政権の拡大等を中心に系統的に理解する。そして，第2次世界大戦勃発の背景について十分に理解する。 ・第2次大戦後の世界の状況について民族運動を中心に系統的に理解する。 ・戦後世界の進展について冷戦を中心に系統的かつ簡潔に理解する。 ・現代的課題について環境や安全保障の面から，今後の課題について簡潔に理解し，自分なりの考察ができるようになる。